

令和6年度福祉現場における事業継続計画(BCP)作成研修 実施要項
～実効性のあるBCP作成～

1 目 的	<p>事業継続計画の作成では、危機発生時のシミュレーションを行い、より実効性のある計画にしていく必要があります。また現在では、災害だけではなく、感染症への対策も含めた対応が求められています。</p> <p>そこで、本研修では、多様なリスクへの危機対応を学び、リスクに強い事業所をつくるための基礎的な知識を習得して「事業継続計画 (BCP)」を作成・運用できることを目的に開催します。</p>
2 研修形態	集合型研修 ※研修日程のとおり
3 開催日時	令和6年8月22日(木) 9:50～16:00(5時間) ※受付開始は9:20～
4 開催場所	セキショウ・ウェルビーイング福祉会館4階 大研修室 (水戸市千波町1918)
5 対象者	社会福祉施設・事業所等に勤務する役職員等 【定員】96名 ※定員になり次第、申込期限前でも締め切らせていただきます。(先着順)
6 受講料等	県社協会員1人あたり 3,000円(税込・資料代を含む) 県社協非会員1人あたり 5,000円(税込・資料代を含む) ※申込締切後、請求書をメールでお送りしますので、振込期限までに必ずお振込みください。
7 申込方法	研修システムにより、お申込ください。 ※申込された方は、申込締め切り後「承認通知」をメールで送付します。
8 申込期間	令和6年6月7日(金)～令和6年7月24日(水)まで
9 留意事項	<p>① 修了証の氏名は受講申込者となりますので、受講者を変更する場合は、研修システムで変更してください。</p> <p>② 申込締切後のキャンセルについては、「社会福祉事業従事者研修受講料に関するポリシーについて」をご確認ください。(代理の方の出席をお勧めします。)</p> <p>③ 受講申込みに記載された個人情報は、当該研修の運営管理の目的にのみ使用いたします。</p> <p>④ 開催方法などの変更・中止等は、研修システムページに掲載します。 ⇒掲載場所⇒茨城県社会福祉協議会研修システムページ (https://www.ibaraki-kenshu.jp/kenshu_user/) 茨城県社会福祉協議会トップページからシステムページに入れます。</p> <p>⑤ 資料データの著作権は、研修講師にあります。録画・録音・撮影、資料等の無断転用は固くお断りいたします。万が一これらの行為が発覚した場合、著作権および肖像権侵害で対処させていただくことがございます。</p> <p>⑥ 昼食は自身でご用意ください。研修室内での飲食は可能です。</p>
10 修了証	受講者は、研修アンケートを期限までに提出してください。 アンケート提出後、「研修システムマニュアルVer.10」のp32もしくは「研修アンケートの提出方法」を参照のうえ、修了証をダウンロードしてください。
11 問合せ先	社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会 福祉人材・研修部(仲田・大谷) TEL: 029-244-3755 E-MAIL: kenshu@ibaraki-welfare.or.jp

研 修 日 程

【集合研修】 8月22日（木）

日 時	研修科目棟	ねらい
9:20～ 9:50 9:50～10:00	受 付 開講／挨拶・オリエンテーション	
10:00～12:00	講義・演習 「福祉事業所における事業継続計画で目指すもの」 ・福祉現場における事業継続計画（BCP）とは？ ・防災計画と BCP の違い ・災害時の福祉の基本 ・事業種別ごとに異なる BCP の要素 「BCP 策定のプロセス」 ・策定前の準備と BCP の骨格づくり ・有事対応の流れと危機管理体制のイメージ	福祉現場における事業継続計画の基本を理解する。
12:00～13:00	昼食・休憩	
13:00～16:00	－午前中の続き－ 「具体的な BCP の策定項目」 ・ライフラインへの対策をどう進めるか ・安否確認と帰宅参集計画 ・実効性の高いマニュアルづくり ・事業所間連携をどのようにすすめるか 「風水害と新型感染症対策」 ・風水害対策 ・感染症リスクの考え方 ・新型感染症対応 B C P （新型コロナ同等の想定） ・BCP まとめ	事業継続計画の立て方を理解する。
16:00	閉 講	

※プログラム等は、変更する場合がありますので、予めご了承ください。

【講 師】

株式会社フォーサイトコンサルティング 代表取締役 浅野 睦 氏

（一般財団法人リスクマネジメント協会理事）

リスクマネジメント・危機管理を専門とする経営コンサルタント。

大手流通業本部勤務から米国系金融機関を経て、1996年に開業。

リスク全般、危機管理、事故防止、コンプライアンス、BCP等を中心に、各組織のリスクマネジメント体制づくり、リスクマネジメント委員会運営、調査、リスク分析・評価、アセスメント及び研修、講演活動を行う。

今まで関わったリスク案件数（調査・評価・研修等）は、3000件以上。

東京都福祉サービス第三者評価制度設計に関わり現在に至る。

厚生労働省・各自治体指導官担当研修（リスクマネジメント・コンプライアンスに関わる指導・監査の方法）

横浜市主催・保育園長向け研修講師・直近6年（リスクマネジメントほか）

保育士等キャリアアップ研修講師（栃木県・群馬県・千葉県・埼玉県ほか）

主な著書

『得意先管理・与信管理の実務』（日本実業出版社）

『写真でわかる臨床看護技術』共著（インターメディカ社）

『現場担当者が考えるべき68のリスク』共著（新建新聞社）

『BCPの実効性を高める災害対応シミュレーション』（日本医療企画） など多数

【配布資料と研修後のアンケート提出】

配布資料	研修資料は当日配布します。 ※他者へ資料を転送しないようにお願いします。
アンケート (レポート)	<u>受講した職員 ID とパスワードで研修システムにログインし、回答してください。「研修システムマニュアル Ver. 10」の p32 もしくは「研修アンケート提出の方法」を参照してください。</u> 修了証を希望する方は、9月2日（月）までに、アンケートの提出をお願いします。それ以降は、修了証の発行ができませんので予めご了承ください。